

DOKIGAWA

リバーキーパーズ

RiverKeepers



つうしん

Vol.029(平成19年4月)

春のうらの土器川には、小鳥たちのさえずる声が聞こえ、生き物たちの活動が活発に見られるようになってきました。

土器川リバーキーパーズの会員の皆様におかれては、ご清栄のことと思います。

土器川リバーキーパーズ通信は、皆様のご意見・ご質問に河川管理者としてお答えしていくものです。土器川に関して、気になっていること、わからないことなど、どしどしお寄せください。今回は、4月18日に行われる「土器川・You・遊フェスタ」の案内と、平成17年度河川水辺の国勢調査の一環として実施しました生物調査結果(底生動物)について説明したいと思います。



キーワード: イベント

○「土器川・You・遊フェスタ」—泳げこいのぼり—

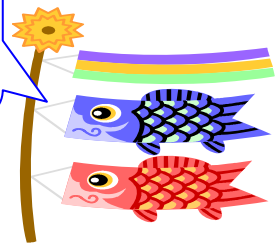
毎年ゴールデンウィーク前に、丸亀市土器町周辺の子供たちが交流する「土器川・You・遊フェスタ」—泳げこいのぼり—が今年も4月18日に城東小学校東側の土器川河川敷で行われる予定です。園児らによる鯉のぼり掲揚・お祝いゲーム・水難防止啓発・土器川清掃・稚魚放流などを行います。

● 開催日時・場所

日 時 : 平成19年4月18日(水)9時30分～11時40分
(雨天の場合翌日19日(木))

場 所 : 丸亀市城東小学校東側 土器川河川敷 みんなの広場
(丸亀橋上流)

ぼくらは、5月
いっぱいまで、
泳いでよ！
ぜひ見に来て
ね！！



キーワード: 生物調査

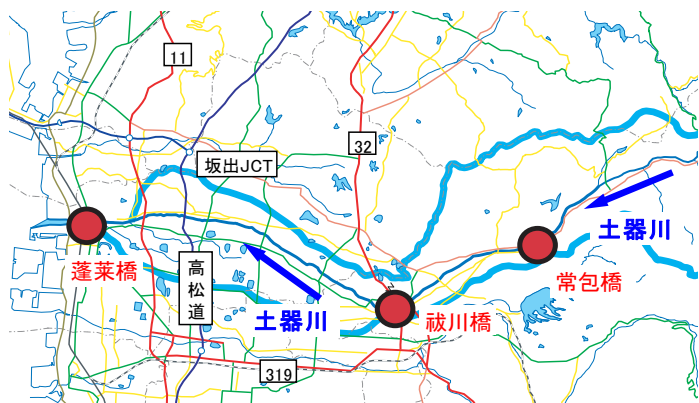
○河川水辺の国勢調査(底生動物)

河川水辺の国勢調査は、魚介類、底生動物、鳥類、両生類・爬虫類・ほ乳類、陸上昆虫類等の各項目を概ね5年で一巡するように実施しており、平成17年度調査は、3巡目になります。土器川において、蓬萊橋、祓川橋、常包橋の3箇所で調査を行い、172種が確認され、確認種数は前回(H11年度調査)及び前々回調査(H6年度調査)と比べると多少の増減はあるものの大きな変化はみられませんでした。

蓬萊橋ではマキガイ、ニマイガイ、ゴカイなど、祓川橋、常包橋ではカゲロウ、トビケラ、ハエなどの水生昆虫類が多く確認されました。

特定種では、ハクセンシオマネキ、サワガニ、ヒメサナエ、ワカウラツボの4種が確認されました。また、外来種では、スクミリンゴガイ、ヨーロッパフジツボ、サカマキガイ、コウロエンカワヒバリガイ、カニヤドリカンザシゴカイ、タテジマフジツボの6種が確認されました。

- 底生動物とは : 水生昆虫を主体とした、貝類、甲殻類、ゴカイ類、ヒル類などです。
- 特定種とは : 天然記念物や絶滅の恐れがあるとして、法律や条例で指定されている種および環境省や都道府県のレッドデータブックやレッドリストに掲載されている種など。
- 外来種とは : 過去あるいは現在の自然分布域の外に、人為によって直接的・間接的に移動された種など。
- 準絶滅危惧とは : 乱獲や密猟・密漁、開発行為や森林の伐採、外来生物、地球温暖化などによる異常気象等が原因で生息数が極端に減ってしまい、絶滅の危機に瀕している種。
- 準絶滅危惧 I 類とは : 現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの。



現地調査による確認種数

水系名	調査項目	今回調査 (平成17年度)	前回調査 (平成11年度)	前々回調査 (平成6年度)
土器川	底生動物	172	167	189

特定種

	種和名	環境庁編分類	香川県編分類
底生動物	ワカウラツボ		絶滅危惧 I 類
	ハクセンシオマネキ	準絶滅危惧	準絶滅危惧
	サワガニ		準絶滅危惧
	ヒメサナエ		準絶滅危惧

外来種

底生動物	スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)	サカマキガイ
	コウロエンカワヒバリガイ	カニヤドリカンザシゴカイ
	タテジマフジツボ	ヨーロッパフジツボ



土器川リバーキーパーズに関するお問合せは



国土交通省四国地方整備局
香川河川国道事務所 <http://www.skr.mlit.go.jp/kagawa/>

〒761-0104 高松市高松町2422-1
TEL:087-844-4315(計画課直通) FAX:087-843-2935

